

令和6年度 第1回 川口市社会福祉審議会児童福祉専門分科会 議事録

開催日時 : 令和6年4月30日(火)
午前11時00分から午前11時40分
開催場所 : 川口市立青木会館 1階
コミュニティルームA・B

■出席委員

加藤分科会長、堀田副分科会長、安藤委員、飯塚委員、糸永委員、大野委員、岡田委員、菊地委員、
笹川委員、鈴木委員、長沢委員、山南委員、渡邊(香)委員、渡部(大)委員

■欠席委員

宮崎委員

■事務局出席者

田村子ども部長

子ども総務課：五十川次長、松下課長補佐、岩田係長、仲田主任、花岡主任、鈴木主事

子育て支援課：狩野次長、後藤係長

子育て相談課：駒木理事、福田課長補佐

保育運営課：栗原課長、井藤課長補佐

保育幼稚園課：岡田課長、沼知係長

青少年対策室：小山次長、久保田主幹

健康増進課：五十嵐次長

地域保健センター：諸橋センター長

学務課：岩井主幹、小方係長

指導課：池田次長、安島主任指導主事

■傍聴者：1名

■配布資料

次第

資料1 (仮称)川口市子ども計画の策定方針について

資料2 保育所等の職員配置基準の見直しについて

1 開会

2 専門分科会長の互選

加藤委員が専門分科会長に選任された。

3 副専門分科会長の指名

堀田委員が副専門分科会長に選任された。

4 諮問

(仮称) 川口市子ども計画の策定についての諮問書が加藤専門分科会長に手渡された。

5 議事

議題(1)(仮称)川口市子ども計画の策定方針について

○事務局

資料1について説明。

○委員

計画の策定にあたっては、基本的に事務局が案を作成し、その内容について本分科会で審議するということが良いか。また、ワーキンググループはどのようなものであるか。

○事務局

1点目については、そのとおりである。

2点目のワーキンググループについては、庁内関係課の担当者レベルで、各事業等の詳細について議論を行うものである。

○委員

ワーキンググループにおいて、例えば、外部の専門家が一緒に入って議論をすることは可能であるのか。

○事務局

ワーキンググループは、庁内の策定委員会の下部組織と位置付けている。本分科会で出された意見を踏まえてワーキンググループでの議論を進めていきたい。

○委員

計画の名称は、計画に関する議論を始める前に定めるのか。それとも、ある程度内容が決まった後に定めるのか。

○事務局

計画の名称については、内容についての審議を進めていく過程で決めたいと考えている。本分科会で意見を伺うほか、こども基本法により子どもからの意見聴取が義務付けられていることを踏まえ、計画の概要を示すことができるようになった段階で、子どもの意見を伺うことを考えている。

○委員

計画の中身が見えるような名称とすることが良いと思う。

○委員

昨年度に実施した調査について、どのような人に対してどのような質問をしたのか教えてもらいたい。

○事務局

対象者については、小学生、中学生、高校生、若者、現在子育てをしている保護者など多岐にわたる。調査結果については、本市子ども総務課のホームページに掲載しているので、ご確認いただきたい。

議題（２）保育所等の職員配置基準の見直しについて

○事務局

資料２について説明。

○委員

３歳児の職員配置を１５：１、４・５歳児の職員配置を２５：１に見直すとのことだが、この人数より多くの子どもを預かっている保育所では保育士を増やすことになると思う。今後、保育所の定員を減らしていく考えはあるのか。

○事務局

今回の見直しに関連して、民間の保育所に対し、市から定員を減らすなどの依頼をすることは考えていない。委員ご指摘のとおり、３～５歳児の定員が多い保育所では、改正後の基準を満たすために保育士を増やすことが考えられるが、本市では国基準に基づく経過措置を設け、当分の間は改正前の基準を満たせばよいこととすることを検討している。

○委員

今回の改正は、保育士の負担軽減等のために行われるものであり、現場としては良いことだと思うが、一方で、職員配置の改善に伴い、保育士増に係り、人件費も増加する。仮に、職員配置の改善分が公定価格に反映されない場合、市として何らかの手当や補助を行う考えはあるのか。

○事務局

国が配置基準の改善を行う以上、それに伴う公定価格の加算は行われるものと考えている。今後の国の動向等を踏まえ市としての対応を検討していくが、現時点で補助等の実施については未定である。

６ その他

○事務局

次回日程に関する連絡

○分科会長

それでは、本日の議題は全て終了する。

７ 閉会